| 単 元 名 | Unit 4　　An American Rakugo-ka | 配当時間 | 5～10時間 |
|---|---|---|---|
| 単元の目標 | (1) 会話において，ジェスチャーを使ったり，工夫をしたりして意味を伝えようとする。<br>(2) o疑問詞＋不定詞や形式主語ｉｔを用いて身近なことを表現することができる。<br>o会話において，ジェスチャーを使ったり，工夫をしたりして意味を伝えることができる。<br>(3) o落語家クラウリーさんの小話を読んで，その内容を理解することができる。<br>o落語家クラウリーさんへのインタビューを聞いて，その要点をつかむことができる。<br>(4) o疑問詞＋不定詞，形式主語ｉｔの用法を理解することができる。<br>o英語で語られる小話から，日米の文化・言葉の使用法の違いを理解することができる。 | | |

☆本単元では，疑問詞＋不定詞，形式主語itの不定詞を使った２つの構文の用法を身に付けさせたい。英語で語られる落語を通して，日米の違いについて考えさせるよい機会としたい。

| | |
|---|---|
| ①★**SO(1)** 疑問詞＋不定詞の用法を知り，練習する。<br><br>「～のしかた」を知っている友達をさがそう。<br><br>評疑問詞＋不定詞を用いて，身近なことを表現することができる。<br>（発表，観察）<br>② **SO(2)** 疑問詞＋不定詞を使ったコミュニケーション活動に取り組む。<br>③★**D(1)** 形式主語itの用法を知り，練習する。<br><br>友達の得意なことや苦手なことを見つけよう。<br><br>評形式主語itを用いて，身近なことを表現することができる。<br>（発表，観察）<br>④ **D(2)** ペアでの対話文暗唱と形式主語itを用いたコミュニケーション活動に取り組む。<br>⑤★**RC P.46** 英語で語られる小話から日米の違いを読み取り，ジェスチャーを使って意味を伝える練習をする。<br>⑥★**RC P.47**　日本人の友達がどんな失敗をしたかを読み取り，工夫をして意味を伝える練習をする。<br>⑧★**LP4** ニュースレポート・インタビューの聞き取りとYTBに取り組む。<br>⑨ **Speaking Test** ストラテジー（工夫）を試すテストを受ける。<br>⑩ **単元のまとめ**　学習事項をまとめ，単元テストに取り組む。 | ①・対話によるhow toの口頭導入<br>・生徒との対話形式の口頭練習<br>②・how toを用いたＱ＆Ａ<br>ＪＴＥとのモデル対話で例を示した後で，ピクチャーカードを用いて「○○のしかた」を知っているか，また what, when, whereなども用いて生徒一人一人とＱ＆Ａを行う。<br>③・ロールプレイの相手<br>・「対話をかえてみよう」の他の例<br>④・暗唱発表の評価，アドバイス<br>・Is it easy(difficult) for you to ～を使って，得意なこと苦手なことを生徒に聞く。<br>⑤・日米の違いについてのスピーチ<br>・ジェスチャーと意味の紹介<br>⑥・日本人の行動で違和感をもつところについてのスピーチ<br>⑦・うまく伝わらないときにどうするかについて紹介<br>⑧・how to を用いた問答<br>⑨・会話を続けるためのストラテジーが使えるかどうかを見る質問を考え，反応をチェックする。 |

o②のhow toを用いたコミュニケーション活動では活動を表す動詞を多数用意し，ピクチャーカードやビンゴゲームなどで使いながら習熟できる活動を工夫するとよい。
o③の形式主語itは，２年生で学習した主語として用いられた動名詞や不定詞の名詞用法と比較して導入するとよい。また，肯定か否定かを相手に早く知らせるという英語の特性も説明するとよい。
o⑤のYTではボディーランゲージの重要性を理解させ，シャレードなどのゲームを導入して楽しく覚える活動を考えるとよい。
o⑤⑥のRCでは日米の違いが取り上げられ，生徒にとっても興味深い話題なのでＡＬＴとのＴＴで話題に取り上げ，スピーチやクイズなど形を変えていろいろな例を紹介できるとよい。
o⑨のSpeaking TestではUnit 4やMP4で身に付けた会話でのストラテジーを試すテストを工夫したい。生徒のボキャブラリーで対応できないタスクを与えて対処を試すのもよい。